

「学ぶ力」	
実態	課題
<p>成果</p> <p>◇全校でUDLを授業に取り入れてから2年が経ち、学習に前向きな児童が増えた。共通指標アンケートによると、「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」児童が9割近くいる。また、「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている」児童が7割を超えている。目標に向かって自己調整しながら学ぼうとする児童が、昨年度よりも増えたといえる。</p>	<p>課題</p> <p>◇学力テストの結果から、基礎的な学力の定着に課題があることが分かる。 ◇共通指標アンケートによると、「自分の意見を進んで発言しようとしている」児童の割合が、昨年度より改善傾向にあるものの、他の項目に比べると低い。友達と学ぶことのよさは実感している一方で、自信がなく進んで発言することに至っていない様子が見られる。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇児童アンケートによると、「自分はクラスの友達に大切にされていると思いますか。」に対する肯定的な回答が9割近くまで増えた。また、共通指標アンケートによると、「自分が必要とされていると感じる」児童も年々増加し、8割近くとなっている。学習面でも生活面でも、友達と温かく関わることのできる児童が増えたこと、ソーシャルスキルトレーニング等で互いのよさを認め合う活動をしたことなどが影響していると思われる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

UDLを通して「みんなでつなぐ あったか本郷」へ ～参加率100%～

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>UDL（学びのユニバーサルデザイン）を実践に取り入れる</p> <p>(1)全員が主体的に授業に参加できるための協働的な探究の在り方の研究</p> <p>(2)子ども自身が学習のゴール（目的）に到達するためのオプション（<u>学びの選択肢</u>）を主体的に選択する</p> <p>(3)子どもが学びを振り返り、学びを調整する力を身に付ける</p>	<p>「自分たちでよりよい学級・学年・学校をつくっていく」意識の向上</p> <p>①ソーシャルスキルトレーニングで自主的な活動を行う素地をつくる</p> <p>②係活動、学級会、委員会活動、異学年交流の充実</p> <p>③総合的な学習の時間で体験的な活動の機会を多くもち、<u>主体性を育む</u></p> <p>④音楽発表会等の行事の活用</p> <p>⑤小中一貫あいさつ運動の実施</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇主に(2)で、複数のツールの中から、ゴールの到達のために自分に適した方法を選択できるように環境を整える。また、適当な方法を選択できるように、振り返りの機会を充実させたり、教師が必要に応じて介入したりする。</p> <p>◇主に②で、児童が Classroom や Google Forms、スライド等を活用して、主体的によりよい学校づくりに取り組めるように環境を整える。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

